

洗濯物が乾きにくく、ジメジメする今日この頃・・・夏までもう一息！！

さて、今月からわんちゃんのフィラリアの投薬が始まりますね。

そこで、改めてフィラリアについてのお話しをしたいと思います。

犬フィラリアとは？

蚊が媒介する寄生虫のことで、成虫になると30cmにもなり、そうめんの様な姿をしています。

この犬フィラリアが肺動脈や心臓に寄生することで犬フィラリア症を引き起こし、血液の流れが悪くなり、様々な障害が発生します。

これを放置してしまうと、最悪の場合、死に至ることもあります。



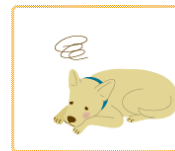
フィラリアが寄生した心臓

どんな症状があるの？

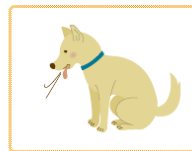
犬フィラリア症になると、散歩中にとっても疲れやすくなったり、いつもは登っていた階段を登るのを嫌がったり、興奮時などに乾いた咳をする事があります。他にも、腹水(お腹に水がたまること)や、血尿、急激に痩せるといった症状もあります。



セキが出る



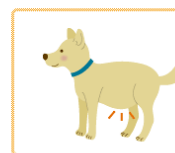
元気がない



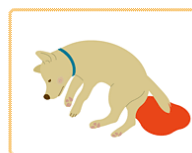
呼吸が苦しそう



食欲がない

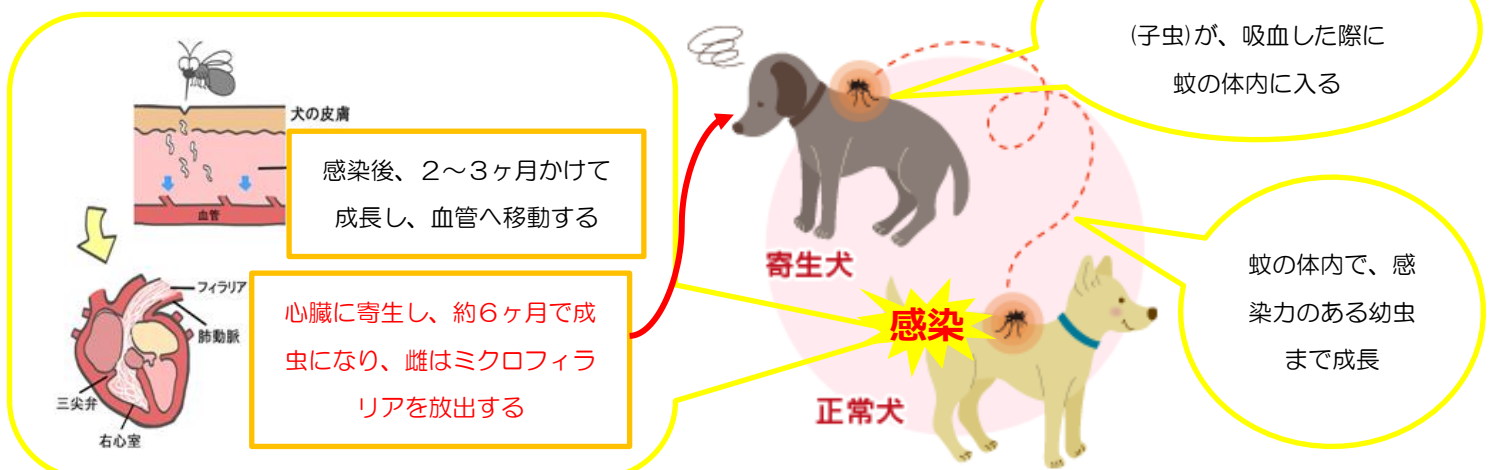


お腹が膨らんできた



尿が赤くなる

寄生されるまでの仕組みは？



きっちり予防をしよう!!

犬フィラリア症は、ちゃんとした予防を行ってれば防ぐことができる病気です。

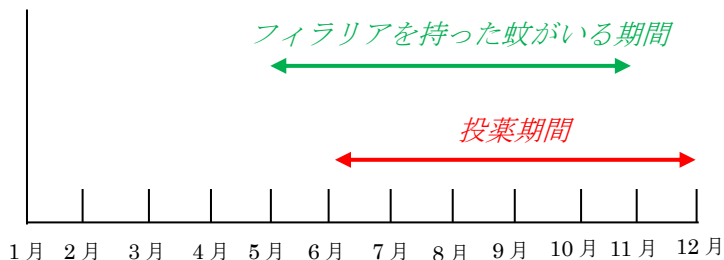
まずは、フィラリアに感染していないかを検査^{※注}しましょう。

そして陰性であれば、6月～12月まで毎月必ず予防薬を投薬しましょう。

※注

心臓に寄生している状態で投薬してしまうと重篤な副作用を起こすことがあります。

必ず検査をしてから投薬しましょう。



なぜ投薬期間が6月～12月なのかというと、それはミクロフィラリア(子虫)を持った蚊がいる時期に関係します。佐賀県では、フィラリアを持った蚊は5月の中旬から出だし、11月までいると統計上言われています。フィラリアの薬は、一度入ってきた子虫を、1か月後にまとめて駆除するという物です。その為、蚊のいる期間より1ヶ月後ろにずれた期間が投薬期間となります。

12月は蚊を見かけないからと投薬を忘れがちですが、もしも11月に感染してしまっていたら駆除が出来ません。

せっかく予防をしてきたのが無駄になってしまいます。必ず最後まで投薬しましょう!



予防薬の種類は?



お肉タイプ



お肉タイプ

ミ・マダニの予防も出来るよ!!



スポットタイプ



注射タイプ

詳しくはスタッフまでお尋ねください!

